いいたてネットワーク



ワークショップのようす。今後は「女性」「村内 で営農する農業者 などを対象に開かれる予定

> 昨年12月、震災前後のさまざまな データをグラフ化した「飯舘村 の未来を考えるためのデータブッ ク」を一般社団法人Bridge for Fukushima (伴場賢一代表理事) と共同で発行しました

同団体では、データブックを無料で配布しています (送料も無料)。また、村出身の方が4~5人集まれ ば出張ワークショップも行えるそうです。

連絡・問い合わせ 6080-5733-7703 (横山代表理事)

「いいたてネットワーク」が、少人数で意見 を述べ合うワークショップ「飯舘村の未来を考 える会 |を開いています。サンライフ福島(福 島市北矢野目)で開かれた第2回には、避難先 で営農する村民4人が参加。農業者の連携や、 村内の農地保全について、アイデアを語り合 いました。村の農業者としての誇りと故郷へ の愛着がにじむ発言も相次ぎました。

> 般社団法人 い たてネッ R催中。活動 意見を聞き 意見を聞き います。昨年 のます。昨年

学童保育

学童保育の21人が、村老人クラブ連 合会(髙橋香会長/飯樋町)と交流しな がら、しめ縄飾りの製作に挑戦しました。 この催しは、シニアサポーター事業によ るものです。小さな手が縄もじりを始め ると、先生役の8人のお年寄りは、コツ を伝えたり、そっと手を添えたり。子ど もたちは、教わりながらていねいに飾り を仕上げ、満足そうに見せ合いました。



完成品を手に記念写真。この事業は、飯樋町老人 クラブ会員の皆さんを中心に展開しています





富山県から訪れた浄土真宗本願寺派

一生懸命つくる子どもたち。自作のしめ縄飾りを持ち帰ります。「早く家族に見せたいな」

伊達東応急仮設住宅

伊達東応急仮設住宅自治会の皆さ んが、伊達東地区交流館で新年会を 開き、だんごさしや餅つきを行いま した。会には、日頃からお世話にな っている伊達市社会福祉協議会や伊 達警察署、支援くださるNTT労働 組合やボランティアの皆さんを招 待。あんこ餅やきなこ餅などを皆で 味わい、住民が歌や踊りを披露して、 手作りの交流を楽しみました。



だんごさしの1本は交流館に飾ってもらいます

村では凍みもちを

作ってた。この倍 もある臼で2升も 4升も一人でつい

たんだよ

松川第二応急仮設住宅



高岡教区の皆さんと、餅つき会で交流 しました。震災後6年連続の支援です。 「今年も会えた」「ありがたい」と再会 を喜ぶ住民も一緒に餅を仕上げまし た。もち米「新大正もち」を提供する 生産農家の杉森修和さんは初回から毎 回の来訪。「最高品質の北陸産もち米。 美味しく食べてほしいし。つきたてを

作業もスムーズ。鏡餅に、きなこ・あんこ・ごま餅も味わう皆の笑顔も最高でした。

菅野百-

ります

自分自身に

とってもい

い経験にな

富山で交流 した人との 再会もあり ました

富山県射水市から兄弟で参加。 「アツアツのうどんもどうぞ」





平成29年2月号 広報 いしたて